

## ふるさと の仲間たち

### 箱根生きもの図鑑 (36)

#### ゲンジボタル

夏の夜に明滅する神秘的なホタルの光は、日本人の心の原風景の一つです。箱根には、ゲンジボタルが広く分布していますが、水田に多いヘイケボタルは仙石原の一部に生息しているだけです。他に陸にすむホタルで、小さいけれど短く強い光を放つヒメボタルが森林内に生息しています。

ゲンジボタルは体長12〜16mmで、雌の方が大柄です。早川や須雲川とその支流に生息し、芦ノ湖の湖畔にも生息地があります。湖にゲンジボタルが生息することは大変珍しいことですが、生息地には湧き水があり、波による水の動きも加わって、幼虫の生息環境を満たしているようです。

ゲンジボタルの幼虫も餌となるカワニナも、急な流れに適応した体型ではなく豪雨によって激流となる早川や須雲川の本流は、あまり住み心地の良い環境ではありません。安定した生息地は、水源が湧き水で、自然が残された細い流れです。こうした場所は水量が安定し、カワニナの繁殖も順調です。



ゲンジボタルの雄

昔に比べると発生地は少なくなりましたが、初夏の湯本に始まり大平台、宮城野、小涌谷、仙石原へと発生が続き、標高の高い所では7月中旬まで見られます。

ホタルやカジカガエル、野鳥を始めた箱根の生き物たちは、箱根を訪れた人の心に安らぎと感動を与える観光資源でもあり、古くから箱根の人と共に生きてきたふるさとの仲間でもあります。これから人も共生が続くよう見守って行きましょう。

「箱根生きもの図鑑」は、今回をもって連載を終了します。長い間ご愛読いただきありがとうございました。

## わが家のちびっ子



あやとき 武田 彩旬 くん(4歳2か月)  
いぶき 伊吹生 くん(2歳1か月)

照幸・奈苗さんの長男・次男(仙石原)

♥お母さんからひとこと  
「兄弟仲良く、健康で。」

### 町の人口と世帯

人口	14,872 (34)
- 5月1日現在 -	男 6,988 女 7,884
( )内は前月比	世帯 7,234 (42)

## とっておきの1枚 拝見!



湯本茶屋 押田良子さんより  
(左端が押田さん)

昭和23年頃、湯本茶屋のお祭りで撮影した写真です。終戦直後、青年団が活気を取り戻そうと、仮装行列をして湯本茶屋中を練り歩きました。私も扮装して1日楽しく過ごしたことをよく覚えています。

皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課にお問い合わせください。